

ほっと にゆるす

このコーナーは、市民のみなさんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介するページです。
あなたが見つけたおもしろいものがあれば、企画調整課 広報広聴グループ（☎6504）までお知らせください。

5/20 (水)



ミシガン州立大学副学長らが訪問

ミシガン州立大学のキム・ウィルコックス副学長ほか19人が川島市長を表敬訪問されました。これは、ミシガン州立大学連合センター（彦根市）設立20周年を記念して来日された関係者が、日本文化体験ということでまちづくりの成功事例である黒壁スクエアなど市街地の商店街を見学されました。一行は、買い物やガラス工房などを見学して、楽しいひとときを過ごされていました。



5/21 (木)

あいさつ標語を選んでね

長浜北保育園の5歳園児55人と保護者が川島市長を訪れて、あいさつ標語の選定をお願いしました。川島市長は、標語の候補6点の中から「おはようど あかるく あいさつ げんきな子」を選び発表されました。園児たちは手作りのフラワーポットを市長へ手渡し、「市長さん、選んでくれてありがとう」と大きな声でお礼を言い記念撮影しました。川島市長は“みんなあいさつをしようね”と声をかけて一人ひとりと握手されていました。

5/23 (土)



史跡をめぐる、一日回峰行

今年で15回を数える一日回峰行が五先賢の館（北野町）を発着点に開催されました。
北野町で生まれた相応和尚が創めた千日回峰行にならって、千日ならぬ一日で小谷の峰を巡り歩く約8.5kmの回峰ルート。山頂では「田根の史蹟・名所」と題して橋本学芸員（長浜城歴史博物館）の記念講演会が行われました。小さな子どもたちを含む約90人が参加され、みなさんケガもなく、無事に修行を終えられました。

5/1 (金)



JR長浜駅でAED取扱い講習会

地域貢献活動の一環として、県職員長浜会からAED（自動体外式除細動器）の寄贈がありました。このAEDは通勤通学、観光客の利用が多いJR長浜駅の改札口前の自由通路に設置されました。この日、駅自由通路オープンデッキにて、取扱い講習会が開催され観光案内所の職員など関係者20人が受講されました。市立長浜病院の医師などから人工呼吸と心臓マッサージを用いた心肺蘇生法と実際に機器を使ってAEDの取扱い方法を学びました。どの参加者も真剣な表情で取り組まれていました。

七条の春祭り

天下一の能面打ちと称えられた井関氏が創建したと伝えられる足柄神社（七条町）で五穀豊穡などを祈願する七条の春祭り（市指定無形民族文化財）が執り行われました。若衆たちが「センザキヨウ、センザキヨウ」という独特の掛け声をかけながら神輿を担ぎます。小雨のばらつくあいにくの天候でしたが、若衆たちは見物するたくさんの人々が見守る中、神輿を本殿に納めるのを惜しむかのように何度も本殿前を行き来していました。



5/5 (日)

5/14 (木)



子育てママがキラキラ輝くために

子育てに追われがちな女性を対象に「ごほうび講座」が開催されました。これは、自分らしく輝いて生きていくことができる社会をめざす「ステキな私発見セミナー」の第1弾。この日は、「色の魔法で輝くママになろう」をテーマに、講師の村上先生からパーソナルカラー（似合う色）とその活用法について講演を聞いた後、参加者同士が色見本を使いパーソナルカラーを探されていました。